

IB-GP

2018発進



<http://www.scout-ib.net/>

◆「平成30年7月豪雨」への対応

この度の西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

平成27年9月関東・東北豪雨では、常総市を中心に大きな被害を受けました。その際に、ボーイスカウトを含む県内外の多くの方々のご支援により、現在の形まで復興することができました。

その多くの方々からのご恩に応えると共に、ボーイスカウトとして、今何が出来るのか、何をすべきなのかを考え、行動に移しましょう。東日本大震災の時も、制服を着た我々ボーイスカウトの「信頼度」は群を抜いていました。

「自発的に行動する」ことは、スカウト個人・班・隊・団の基本的な在り方です。そのため、今回は、県連としては特に組織的な指示はいたしません。皆さんの団・隊のご判断で自発的に行動されることを期待しております。(個人・班で行動する場合は、必ず所属隊長の許可を得てから行ってください。)

◆義援金をはじめとした募金について

義援金をはじめとした募金活動を行う場合、その集った募金は、直接、日本連盟にお送りください。

義援金については、日本連盟でとりまとめの

上、日本赤十字社等を通じ、被災者の皆様にお届けすることとなりました。

また日本連盟では、「義援金」の他に「見舞金」、「活動支援金」の3種類の募金を受け付けます。それぞれの違いについては下記をご参照下さい。

○義援金、見舞金、支援金について

●義援金

各地域でスカウト関係者が主に街頭で行う「被災者、被災地域のための募金」については、「義援金」として取り扱います。日本連盟で各団等からの義援金をとりまとめうえで、日本赤十字社等に送金します。また、それぞれの団等で直接日本赤十字社等に送金することも可能です。実施にあたっては併せて趣意書*およびガイドライン*をご参照ください。

●見舞金

スカウティングに取り組む仲間に対しお見舞いの意を表するものとして「見舞金」があります。この募金はスカウト関係者を中心に行い、被災地域県連盟にお送りし、被災された関係者へのお見舞いや各連盟組織の再建等に使用していただくものです。

●支援金

ボーイスカウトが行う災害救援活動について、その趣旨に賛同する方に募金をお願いするものです。支援物資購入、運搬、ボ



ランティア活動支援などさまざまな救援活動に関わることに充てられます。

※募金実施に関して、趣意書、ガイドライン等は7月17日付で県連事務局から各団にメールでお送りしています。また、こちらの日本連盟ホームページにも掲載されています。

https://www.scout.or.jp/for_members/saigaishien/index.html

○募金実施の報告について

各団での活動状況を取りまとめるため、送金と同時に送金確認を含めて、以下の内容を日連及び県連まで、メールでお知らせください。

- ①送金者(地区・団)、担当者名・連絡先
 - ②募金額
 - ③送金日、送金額、日本連盟以外に送金した場合には送金先団体名
 - ④募金実施日時、場所、参加団・隊名、参加者数
 - ⑤支援金・見舞金の場合はその旨
- メール 日連: soumu@scout.or.jp
県連: ibaraki@scout-ib.net



1953年、アメリカ・カリフォルニア州のカブスカウトたちは、松の木（パインウッド）を削って、釘でタイヤを打ち付けて、なんとレースを始めてしまいました。坂道を転がして速さを競うだけの単純なゲームですが、実にこれが何とも楽しく、また奥が深いのです。

茨城県連盟では、ビーバーやカブスカウトがやり甲斐があって夢中になれるプログラムとして、パインウッドではなく、もっと身近な材料を使った車を作って、それでレースを行うことにしました。その名も「IB-GP」（イバラキ・グランプリ、通称アイビー・グランプリ）です。

さてさて、どんなレースになるのでしょうか。楽しみですね。

◆ IB-GP はこんな競技です

IB-GPは、スカウトたちが自分自身で作った無動力の手作り車を、予め決められた坂道のコースを転がして、早さを競うゲームです。勝ち抜きトーナメント戦で、地区の**BEST3**を決めます。

コースは、県連が用意した、全長18mほどのコースです。コースは「赤」「白」「青」のトリコロールカラーで色分けされた3つのレーンがあり、3台で同時に競えます。

スタート台は、高さが約1.7mあり、3台が同時にスタートできるスタート装置がセットされています。

競技は、A,B,Cの区分毎のルールで作られたレースカーによって、A,B,Cの部門毎に行われます。

● 競技のルール

みんなで「競い合う」ためには、同じルールのもとで車を作り、また、同じルールで競技をすることが必要です。

そのために、「競技のルール」と「競技車両のルール」を決めました。

● 競技の基本ルール

- レースは、A,B,Cの部門別に実施します（部門は「競技車両のルール」を参照）。
- 全てのレースカーは、レース参加に際し、

競技委員による「車検」を受けて合格しなければなりません。

「車検」とは、レースカーが競技車両のルールに従って作られているかを確認することです。

また、車検を受けたレースカーは、その後は全てのレースが終了するまで、競技委員以外の人が触れることはできません。

○レースは、カテゴリー（後述）別に、トーナメント形式で行われます。レースの走行順序は、レース開始前に決定します。各レースは基本的に3台で行われます。

○走行するコースによって、条件が異なるかもしれませんので、じゃんけん等によって、勝った順にコースを選ぶことができます。（自分の名前が呼ばれたら、速やかに保管場所に行きます）

○各レースの結果は、フィニッシュラインの上を車両の鼻先が通過した時の着順で審査員が判定します。

○レース中、もしくは待機中にレースカーが破損するなど、車検時と異なる状態になった場合は、走行可能であっても、再度車検を受けて合格しなければ、それ以降の出走は認められません。

○レースカーがコースを脱輪し、他のレースカーの走行を妨害した場合は、レースは再度やり直しとなります。（妨害しなければ続行。）

○同じレースカーが2回脱輪した場合は、その車は失格となり、以後のレースには出場できません。

○フィニッシュライン（ゴールライン）より手前でレースカーが停止した場合は失格とみなします。以降の出走は認められません。

○3台のうち、最も早かった1台が予選トーナメントに勝ち上がり、1位から4位を決めます。2回の予選（第1ヒートと第2ヒート）で選ばれた計8台が決勝に進みます。

● 競技車両のルール

レースに出場するレースカーの競技車両規則には、全ての部門に関係する「統一レギュレーション」と、参加する部門の内容を定めた「部門別レギュレーション」の2つがあります。部門は、競技車両の改造の度合いによって次のB,C,Aの部門が設けられています。

● B部門（ビーバー部門）

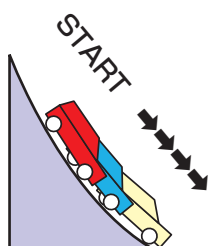
○これはビーバースカウトの「B」が示すように、ビーバースカウトによって行われるレースです。

○全ての競技車両は、車両キットタイプFを使用し、ほとんど改造が許されていません。

● C部門（カブ部門）

○これはカブスカウトの「C」が示すように、カブスカウトによって行われるレースです。

○全ての競技車両は、同じ車軸の車両キットタイプRと指定のタイヤを用いるか、車両



これがコースだ!!

スタート台の高さ 約 170cm

全長 約 1800cm

発射角度 約 60°

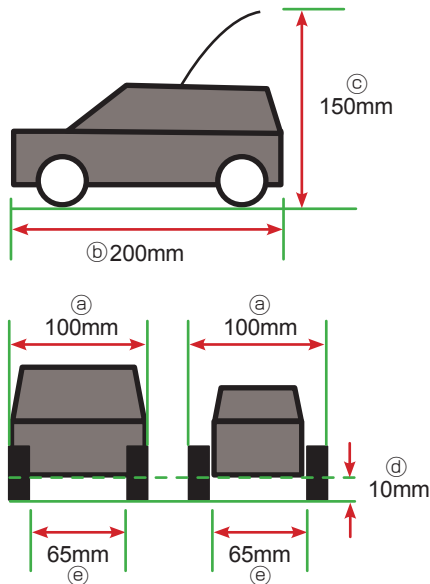
キットタイプPの車軸とタイヤのセットを使用します。車体は競技車両規則の範囲であれば自由です。

● A 部門 (BS 以上部門)

- ALL FREEの一般開放の区分で、BS以上、指導者も保護者も参加できます。
- 作製する競技車両については、サイズと重量以外は全て自由です。

※指定のタイヤ、同等品のタイヤとは。

- キットのタイヤは、「ミニ四駆」用の大径(31mm)のタイヤとホイール(大径ホイール&パレルタイヤ、タイヤ内径23mm、大径Vスポーク)を使用しています。これを指定のタイヤとします。
- ミニ四駆用のタイヤは「径」と「形」と「幅」に多くの種類があります。
- 大会側では、最も早く走れるだろうと思える「径・形・幅」のものを選択してキットとしていますが、スカウトたちの創意工夫の芽を伸ばすチャンスと考え、他のミニ四駆用のタイヤを「同等品」として使用することが出来るものとなりました。



● 競技車両規則

(レースカーの規格、作り上げるときのルールです)

競技車両を作るにあたっては、全員が守らなければならない「統一レギュレーション」と、部門によって異なる「部門別レギュレーション」の2つの車両規則があります。

◆ 統一レギュレーション

○ゼッケン

ゼッケンは、申込書が地区に到着した順に、1番から機械的に順に付与していきます。

ゼッケンの大きさは、縦25mm・横30mmのシールで、車両の上部に貼ることとします。で、車両作製時にはゼッケンを加工せずに貼れるスペースを設けておいてください。

また、ゼッケンの色は、カブの組旗と同じ色で、1地区：赤、2地区：白、3地区：黄、4地区：緑、5地区：青、6地区：ワインレッド、とします。ゼッケンは縦3cm横4cmです。

○車両の大きさ

- 車幅③ 100mm 以内 (10cm を 1mm でも超えたらだめです)
- 車長⑥ 200mm 以内 (20cm を 1mm でも超えたらだめです)
- 車高④ 150mm 以内 (15cm を 1mm でも超えたらだめです)

○車両の重さ

- 車重 500g 以内 (ゼッケンやステッカーや塗装が完了し、車検を受けるときの車両重量が500g を 0.1g でも超えたらだめです)

○走行関係

- 最低地上高④ 10mm 以上
- 左右のタイヤの内側の距離⑥ 65mm 以上

○車両の材質、形状

- シャーシ (タイヤを取り付ける基礎部分) : 木材とし形状は自由。A クラスを除く。
- ボディ (シャーシの上に乗せる本体) のデザイン (形、色、材質) : 自由。
- 車体 (シャーシ+ボディ) は、1つの木材を削り出す等加工しても、複数の部材・材料を接合させても可
- タイヤは、F1のように車体の外側でも、ツーリングカーのように車体の内側でも可。
- デザイン上必要と思うもの (ウイング、スポイラー等) は、統一レギュレーションの範囲内であれば可。

○その他

- 車体の上部には、ゼッケンを加工せずに貼付し表示する (縦3×横4cm)
- また、大会スポンサーがある場合は、所定のステッカーを所定の位置に貼付しなければならない。
- 次のものを競技車両に取り付けたり塗布してはいけません。(Aクラスを除く)
 - ③コース材と競技車両の摩擦を軽減するための一切のもの。
 - ⑥車軸と車輪の摩擦を軽減するための一切のもの (油脂類含む)。



● 競技車両キットの頒布

B部門用、C部門用の競技車両キットは3種類用意しました。

◆ 競技車両キット・タイプF (¥500)

- B部門及びC部門用の車両キット
- キットの構成は、シャーシ (1)、車軸 (2)、車軸スリーブ (2)、ワッシャー (4)、タイヤ (4) です。
- シャーシは、作成時に切ったり、削ったりしたままですので、バリが残っています。
- シャーシは、ホイールハウスと車軸用の溝が予め掘ってあります。

◆ 競技車両キット・タイプP (¥400)

- C部門で、シャーシとボディは自分で作るスカウト向けの車両キット
- キットの構成は、タイプFからシャーシを除いた、車軸 (2)、車軸スリーブ (2)、ワッシャー (4)、タイヤ (4) がセットになっています。

◆ 競技車両キット・タイプR (¥100)

- C部門で、シャーシとボディは自分で作るスカウト向けの車両キットで、タイヤにこだわりタイヤを自分で調達するスカウト向けのキット。
- キットの構成は、車軸 (2)、車軸スリーブ (2)、ワッシャー (4) のみのセットです。

※車両キットの詳細、及び発送の状況については、県連ホームページをご覧ください。

● 県連情報>>イベント・派遣情報>> IB-GP >>インフォメーション

<http://www.scout-ib.net/02-ib-gp01.html>

- 7/20に、受付済みの7月8月実施分を発送しました。(一部発送準備中)。準備が整い次第、順次発送します。

● 競技車両規則 (レースカーの規格、作り上げるときのルールです)

競技車両を作るにあたっては、全員が守らなければならない「統一レギュレーション」と、部門によって異なる「部門別レギュレーション」の2つの車両規則があります。

◆ 部門別レギュレーション

○ 競技車両作製の原則

- Cクラスのレースカーは、カブスカウトが作製する。親はサポートにとどめる。
- Bクラスのレースカーは、ビーバースカウトが親と一緒に作製する。
- レースカーは、その大会用(今年度)に作製されたものであること。昨年のレースに使用した車を使えません。
- レースカーは他人から購入したり、プロが作製したものは、認められません。

○ B部門 (ビーバー部門)

- 競技車両キット・タイプFを使用して作ります。

- 車のシャーシ、ボディ

シャーシは、車両キットFのものを使用します。それにボディを紙粘土や木材等で作って取り付け、好きな色を塗ります。

○ C部門 (カブ部門)

- 競技車両キット・タイプF、タイプP、タイプRを使用して作ります。

- タイヤ

キットのタイプFかタイプP、もしくは同等品を使用し、指定の車軸に取り付ける

- 車軸・スリーブ・ワッシャー

指定されたもの(車両キット・タイプF、タイプP、タイプR)を使用する。

- 車のシャーシ、ボディ

シャーシは指定されたもの(キットF)を自由に加工するか、もしくは、統一レギュレーションの範囲内で自由に作り上げる。ボディは自由。

○ A部門 (オールフリー部門)

- オールフリーですので、統一レギュレーション以外は、全て自由です。

- A部門のタイヤ

最低地上高が10mm以上、左右のタイヤの内側の距離が65mm以上、確保できれば、タイヤ径やタイヤの幅は自由です。

キットFのシャーシです。あらかじめホイールハウスと車軸の溝が掘られています。



キットのタイヤと、車軸・スリーブです。



競技エントリー方法

● B部門、C部門

○参加単位

- 参加の単位は「隊」となります。

○参加申込

- 地区のラウンドテーブル等で、参加を希望する隊に申込書を渡します。
- 申込書に必要事項を記入して、隊でとりまとめ、参加費を添えて、地区に申し込みます。
- 参加が受理されると、エントリーリストとゼッケンが地区から渡されます（番号は指定できません）

○車両の作製からレース当日まで

- 隊集会や組集会などで、競技車両（レースカー）を作製します。家庭での宿題で

もかまいません。そして完成させます。（作り方は、別途配付します）

- 出来上がったレースカーが、レギュレーションに合っているか（サイズ、重量）を隊で確認します。
- レースカーには、所定のゼッケンやステッカーを貼ります。（参加者の車両に対してゼッケンが指定されます。間違わないようにお渡しください。）
- レース当日まで、大切に保管します。

● A部門

○参加単位

- 参加の単位は「個人」となります。

○参加申込

- 参加を決めたら、各隊の隊長にその旨を伝えて、参加申込書を手に入れてもらいます。
- 申込書に必要事項を記入して、隊でとりま

とめ、参加費を添えて、地区に申し込みます。

- 参加が受理されると、所定のゼッケンが地区から渡されます（番号は指定できません）

○車両の作製からレース当日まで

- 各自それぞれで、競技車両（レースカー）を作製します。既成のキットは使用不可です。基本構造を含めて、部品を個別に調達して、それを独自に組み立てたものとなります。
- 出来上がったレースカーが、レギュレーションに合っているか（サイズ、重量）を各自で確認します。
- レースカーには、所定のゼッケンやステッカーを貼ります。（参加者の車両に対してゼッケンが指定されます。間違わないようにお渡しください。）
- レース当日まで、大切に保管します。

競技の流れと勝敗

○レース当日

- 会場に着いたら、隊長は受付をします。そこで、トーナメント表が渡されますので、
- 隊ごとに所定の場所で、各自（隊）で持ってきたレースカーの最終調整や最終確認をします。
- 指定された時間になったら、「車検（車両規定に合っているかを確かめる審査）」を受け、合格したら、レースに参加できます。不合格の場合は、車検に通るように調整をし、再車検を受けます。
- 車検に合格したレースカーには、識別のシールが貼られます。そして、車両保管場所に保管されます。競技終了まで触ることはできません。

○レースと勝敗

- レースは、トーナメント表にしたがい、1レース3台ずつで行います。
- 出走の順番が近づいたら、場内アナウンスで名前を呼ばれます。そしたら、車両保管場所に行き、じゃんけんで走行レーンを決めます。
- レーンの色が描かれたキャリアに入れられたレースカーを車両保管の担当から受け取り、スタートの担当（スターター）のところにキャリアごと持って行きます。（※

このとき、レースカーに触ってはいけません。）

- スターターは、レースカーを取り出し、スターティンググリッドにセットします。スカウトは、そのとき、自分の車がスターティンググリッドに正しくセットされているかどうか、確認します。
- スタート準備が整ったら、キャリアを持ったままゴールに向かいます。そこで勝敗の行方を見守ります。
- レースの勝敗は、フィニッシュラインの上を車両の鼻先が通過した時の着順で審判員が判定します。審判員の判定に異議を唱えることはできません。
- 勝ち残った1台が、トーナメントに進むことができます。
- ゴールしたら、担当者にレースカーをキャリアに入れてもらい（そのレースの勝者は公式記録員に勝ったことを申告）、そして車両保管場担当者にそのまま渡し、次のレースを待ちます。

○予選と決勝

（予選トーナメント）

- 予選は、部門ごとに第1ヒートと第2ヒートの2回トーナメント戦を行います。
- 第1ヒートで優勝から第4位までを決めます。
- 第2ヒートは、対戦相手を替えて、第1ヒートと同じ

ように全参加者でトーナメント戦を行い、第4位までを決めます。

（決勝トーナメント）

- 第1ヒート、第2ヒートで選ばれた計8台で決勝トーナメントを行います。
- 決勝トーナメントの組み合わせは地区が決めます。（くじ引き等で）
- 決勝トーナメントは、2台ずつで行われます。
- 第1ヒートと第2ヒートで同じ車両が選ばれる可能性があります。同じ車両同士の組み合わせとなった場合は、そのまま勝ち上がるコトになります。

○表彰

- 表彰は、B,C部門とも1位から3位まで。ただし、A部門は、今年度（H30）はエキシビションとなります。
- IB-GP地区競技会の結果は、第6位まで県連のIB-GP本部に送られ、ホームページに発表されます。

さあ、キミも組の仲間と
参加しよう！